

Since 1984

Silver City
Series

「在宅復帰への取り組み」

— 緊急入居依頼に対する即日対応 —

介護付有料老人ホーム シルバーシティ武蔵野

介護支援専門員 勢登 裕介



※本スライドで紹介している写真や内容は、プライバシーに配慮したうえで撮影し、ご本人の許可を得て掲載しております。



株式
会社

太平洋シルバーサービス



Since 1984

Silver City
Series

介護付有料老人ホーム

シルバーシティ武蔵野

武蔵野市緑町3-3-10

三鷹駅北口バス乗り場より「市営プール」バス停下車
徒歩230m（徒歩約3分）

- 開設 1991（平成3）年6月15日
- 居室数 32室（定員 43名）
- 介護に係る職員体制 1.5：1以上
- 平均介護度 （要介護）2.68
- 平均年齢 90.8歳（令和6年8月末現在）



千川上水や桜並木にほど近い緑あふれる「武蔵野」に立地。武蔵野市役所や市民プールなどが徒歩圏にあり、散歩にも適しています。陽ざしあふれる広々としたラウンジが自慢です。



Since 1984

Silver City
Series

地域における在宅介護の現状

体調不良



転倒

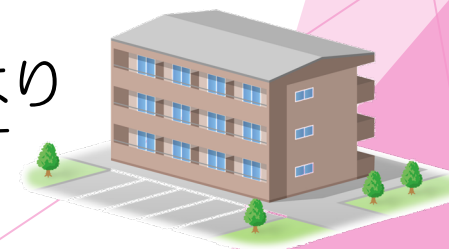


熱中症
食欲不振



救急搬送されたが入院までは必要なしと
診断され帰宅されることも多く

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、往診医等より
当ホームへ緊急入居の依頼が入ることが数多くあります



Since 1984

Silver City
Series

企業理念

「私たちはご高齢者の多様なニーズにお応えし、
幅広くかつ温かなサービスを提供することにより、
心豊かな社会づくりに貢献していきます」

経営理念

「ご高齢者のお客様に尊敬の念をもって接し、ご家族様に代わっ
てお一人おひとりのニーズに合ったきめ細かいサービスを提供す
ることにより、いつまでも快適なシニアライフを過ごして頂く」

地域の皆様のお困り事に寄り添うべく
開設当初よりショートステイについても受け入れております

また、有料老人ホームは終の棲家ではありますが
日頃から地域のさまざまな関係機関と連携し
在宅復帰へのご支援を行うことも大切な使命

Case
Study

事例をご紹介します



Since1984

Silver City
Series

事例①

- ▶ Aさま
- ▶ 80代後半 女性
- ▶ 一人暮らし（自宅にて転倒）
介護保険申請中（ケアマネ不在）

転倒しているところをご家族様が発見し、救急搬送。右肩骨折の為ご入院。ご退院後の在宅復帰に向け、ケアマネジャー、主治医を探すと共に、生活しやすいようご自宅をリフォームする事となり、**その間の体力・気力の向上を目的に**、地域包括支援センターよりご依頼をいただきました。



Since 1984

Silver City
Series

具体的なご支援の内容

- かかりつけ医が居なかったため、滞在中は協力医に依頼 → 快く引き受けて下さる
- 訪問治療院の有資格者にて右肩可動域を広げる施術に取り組みました（医療保険使用）
- 歩行介助（生活リハビリ）
- 精神面のフォロー

約 1 か月間のご利用期間中
職員が一丸となってサポート



Since1984

Silver City
Series

カンファレンス

要介護認定が確定し、ケアマネージャーも決まり、当ホームにてご本人様、ご家族様、専門職（介護、看護、ケアマネ、生活相談員）が集まり、在宅復帰に向けてのカンファレンスを実施

当ホームから身体面・精神面など多岐にわたってご様子をご報告

リフォームするご自宅での手すり設置位置など、工事の参考となりました

往診医、訪問看護も調整ができました



Since 1984

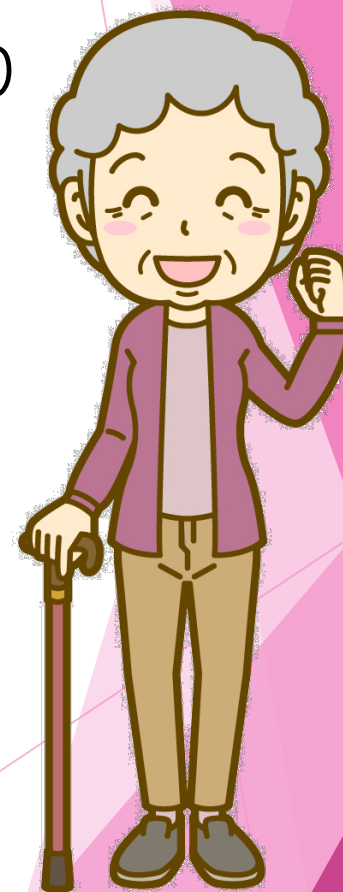
Silver City
Series

考察

ご入居当初はお部屋に籠ることが多かったが
サークルやイベントへのお誘いや、職員の声掛けや関わり
によって徐々に心を開いていただいた

集団生活にも慣れ
後日、ご家族様より「元気で暮らしています。
デイサービスにも通っています」
とのご連絡を頂きました

当ホームの取り組みが
成果となりました



Since 1984

Silver City
Series

事例②

- ▶ Bさま
- ▶ 90代前半 男性
- ▶ 要介護2

認知症のある奥様と二人暮らし

数日前より急に立ち上がれなくなり、救急搬送。異常無しとのことで即日帰宅するも、翌日も症状は変わらず。ご夫婦二人暮らしである為、今後は往診医に切り換えを調整している最中の出来事でありました。体調の安定、適切な栄養摂取と共に、往診医確定までの間の利用を目的に、居宅介護支援事業所より緊急入居のご依頼をいただきました。



Since 1984

Silver City
Series

具体的なご支援の内容

- 服薬サポート

持参薬から日々適切な内服が出来ていない状況を確認。担当ケアマネージャーより出来る限りの医療情報等を頂き、看護部門が体調観察と服薬サポートを開始しました



- 嚥下状態の確認

アセスメントを基に、水分はトロミを付け、食事形態を粗キザミへ変更。嚥下機能を確認しながら食事を安全に召し上がって頂きました



在宅復帰に向け
職員が一丸となってサポート



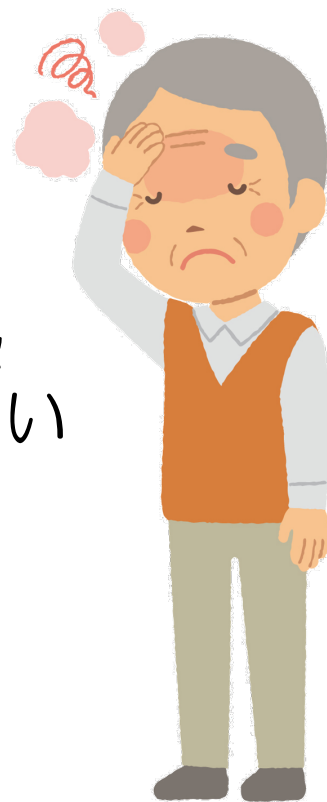
Since 1984

Silver City
Series

しかし！

ご入居2日目に介護部門が38度の発熱と、意識はあるものの右足が動かみにくい状態を確認しました

看護師よりご家族様へ状況報告



その報告を受けて地域包括支援センター、居宅ケアマネージャーが連携し、往診医が確定。即日往診に来てくださいました



Since1984

Silver City
Series

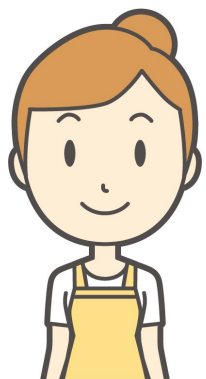
考察

往診医による診察の結果、「脳梗塞の疑いがある」
との診断で救急搬送、ご退居に

後日、ご家族様より「急な状況にも関わらずホーム
で対応してくださり、また、体調の変化にも気づいて
くれて、感謝しています」
とご連絡をいただきました

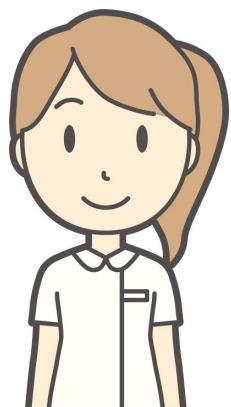


常に心掛け実施していること



▶ 介護

- 在宅復帰に対し、症状に合わせて身体機能の維持・向上の取り組み
- 立位、歩行介助（徐々に歩行距離を伸ばしていく対応）
- 日中サークル活動へのご案内（精神面の活性化・生活リズムの改善）



▶ 看護

- 緊急入居依頼時 ：主治医、訪問看護より情報収集
- 日々のご体調報告：ご家族様、主治医、訪問看護、居宅ケアマネージャー、主治医、訪問看護の当ホームへの往診、訪問につなげる



Since 1984

Silver City
Series

主治医との連携(報告・連絡)



また、現状報告だけでなく
日々の生活の中での変化から病気を予見し
主治医にお伝えしております

主治医との永い関わりのなかで
看護師が中心となり信頼関係が築けております



Since1984

Silver City
Series

多職種による連携

私たちができる
ことはなに？

在宅復帰に向けて

具体的な支援内容を、看護、介護、
ケアマネージャーの多職種連携にて
随時、話し合いを行っています



Since 1984

Silver City
Series

「いま、困っている方に手を差し伸べる」

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問診療
訪問看護など、ご本人様の在宅復帰に向けた支援の輪に
**私たちもチームの一員として関わらせていただくことを
使命**と考えております



Since1984

Silver City
Series

ご清聴ありがとうございました



株式
会社

太平洋シルバーサービス

シルバーシティ武蔵野

